

想いが、未来をつくる

くしま
まちづくり
協議会

仲町商店会を中心に、建築士会や市民有志18人で組織されている「くしままちづくり協議会」。串間市の活性化のために旧吉松家住宅の雰囲気にかう大正ロマンのまちづくりを提唱しています。

路面電車の設置にあたっては、資金集め、購入に至るまでの譲渡交渉、車両運搬、基礎工事、設置の全てを同協議会でやりました。

路面電車によるまちづくりの他にも旧吉松家住宅前の空き地を活用した市民・観光客の憩いの場となる広場づくりのデザイン提案、新居崎邸と石蔵を活かしたまちづくりの提案、旧吉松家住宅前で飛ぶホテルの保護など活動は多岐にわたります。



5月28日、協議会により路面電車がJR串間駅そばに設置される。



費用削減のためレール運搬も自分たちで。



10月末、ボランティアによりウッドデッキが整備された。



路面電車でセタジャズライブや線香花火大会を開催。にぎわいも生まれている。



路面電車でセタジャズライブや線香花火大会を開催。にぎわいも生まれている。

協議会に入って、たくさんの人を知ったり、学ぶこともたくさんあります。メンバーも串間を元気にしたいと思っている人たちはかなりなので一緒に串間を盛り上げていきたいですね。

総合案内所のオープニングイベントで福島高生のスイーツ販売のお手伝いをさせていただきました。高校生が考えたものを私たちが作って形にして、高校生が販売するというので、お互い新しい経験ができたと思います。結構お店に問い合わせも多くて反響がありますね。機会があればぜひ第2弾もやってみたいです。11月中には、路面電車に水道をひくことになっていて、水が使えるようになります。そうなるとカフェもできるようなので、年内には試験的にでもカフェに挑戦したいと考えています。路面電車がゆつくりできるような空間になって、観光客の方たちに少しでも串間にいてもらえようになるといいですね。

くしままちづくり協議会副会長
川田好文さん(菊水堂)

「ゆつくりできる空間を」

設置した当初は、いろんな批判もありましたが、イベントを開催してきたことや、ウッドデッキを作ったことをきっかけに応援してくださる方が徐々に増えてきたように感じました。デッキ作りは一般市民、建築業協会、建設業協会、建築士会の方々のボランティアにより完成し、感謝の気持ちでいっぱいです。この電車が、串間に少しでも元気があつたらいいですね。

協議会で路面電車を設置することが決まり、いざ探してみると思った以上に無く、見つからなくても電車マニアだと思われて門前払いでした。そんな中、JR北陸ロジスティクスという会社を見つけ、金沢の本社まで出向き、まちづくりの一環として電車の必要性を説明しました。思いを伝えたいところ、旧吉松家住宅に合うレトロな電車が広島にあることがわかり、譲っていただきました。

くしままちづくり協議会幹事
西村悟さん(来夢設計)

「路面電車を起爆剤に」



まちの新しいカタチをつくるため立ち上がる人たちがいる

くしま
まちづくり
協議会

「人口流出」「少子高齢化」「消滅可能性都市」。そんな言葉が串間の現状を物語る。しかし、そんな中でも串間を活性化させようと頑張っている人たちがいる。それが「くしままちづくり協議会」の皆さん。たくさんの人の心が一つになり、「結」の力で串間に新たな風を吹かせている。想いは一つ、「串間のために」。



上段左から：喜多 祥一さん、松岡 勝矩さん、池島 正浩さん、川田 好文さん、河野 秀親さん、西村 悟さん、木原 愛さん、平田 慎也さん、水元 和人さん
下段左から：堀口 直樹さん、中馬 舞子さん、井上 幹夫さん、岩下 大次さん、坂口 恵さん、立本 昌寛さん、清水 紀彰さん、瀬尾 大樹さん、山下 昌志さん

くしままちづくり協議会副会長
喜多祥一さん(喜多米穀店)

「どこにもないものを」

くしままちづくり協議会副会長
池島正浩さん(大洋建設)

「垣根を越えてみんなで」